

Q コース戦略を有利にする持ち球の考え方

メールありがとうございます。いきなりの質問で申し訳ありません。ドライバーショットですが、いろいろな球筋があると思います。アマチュアの方や私の場合、真っ直ぐのストレートボールとフックボール、ドローボールの3種類をそのホールごとに漠然と打っていますが、プロの方はフックかドローボールか得意とするほうを決めていくと聞きました。ストレートをやめて、フックボールかドローボールかどちらかに決めてコースマネジメントを組み立てたり、またフェアウェイをキープする確率が上がるのでしょうか？

自分の場合、真っ直ぐ打っても最後に右か左へちょっと曲がり、フェアウェイとラフの境目に落ちるのが多いのです。真っ直ぐ打っても最後に曲がるのなら、初めからフックで曲げてフェアウェイセンターにとも考えたり、また、もっと真っ直ぐ打てるように練習をともしたりします。なかなか練習ができなく、小手先に頼ってしまいます。

アマチュアとしては、下手なりにどう考えていけば一番効率がよいのでしょうか？よければアドバイスお願い致します。

A

確かに言われる通り、ほとんどのプロゴルファーは、ドロー（右に飛び出して左に曲がる）かフェード（左に飛び出して右に曲がる）の2種類のボールのどちらかを使ってコース戦略をしています。普段はドロー系の選手でも、右ドッグレッグのホールではフェードを打っていったりするのですが、それでも基本的にはドローかフェードのどちらかをメインの球筋と決めていきます。

なぜこのように球筋を決めていくのかと言うと、完全なストレートボールを打てる確率が低いからです。ゴルフのボールは曲がりやすいので、ドローかフェードのどちらを打つかを決めて意識的に打っていったほうが実は確率がよく、球筋が安定します。ドローとフェードのどちらに決めるかは、普段どちらの球筋が多く出やすいのか、またはどちらのほうが打ちやすいのかを目安にするとよいでしょう。このように得意な球筋を決めて重点的に練習するようになれば、安定した球筋のボールが打てるようになってきます。